

## 最後の子供会流しそうめん。



▲高校生よ、ありがとう(;ω;)

流しそうめんの前にまずはみんなでエクササイズ。丸森の協力隊が主体となってゲームを楽しみました。スイカ割りもなかなか盛り上がりました。

毎年恒例、大張・耕野地区の子供会で流しそうめん大会を行いました。今年は前日の準備と当日に、高校生と丸森の協力隊が手伝いに来てくれました。とっても助かりました(^.^)偶然にもその中にはなんと入区の大槻一治さんの高校生のお孫さんが!!!



裏方にはじゅんこさんとすみこさんが。この方達のおかげで子供たちの笑顔が見れます。

感謝!!

## 9月号 Vol.10 協力隊通信

宮原 治代  
(ミヤハラ ハルヨ)



## さいりナイトガーデン@齋理屋敷。



8月6日～8日、齋理屋敷にてイベントがあり、行ってみました。会場は灯籠が並び、変な光る物体が芝生にランダムに転がっており、今、流行りの「映え」を意識した会場になっていました。太鼓の演奏しか聞けなかったのですが、迫力満点で協力隊頑張ってるなあ～といい刺激になりました。

## お弁当ありがとうございました。

8月18日、JICA 東京主催の教員研修にて、我がザン丸プロジェクトが登壇する機会がありました。その際に昼食に配布するお弁当を



ころたけの郷のメンバーに作っていただきました。丸森の新鮮な野菜や特産を取り入れたお弁当にして欲しいというリクエストにも柔軟に対応していただき、参加した教員の方々からは美味しいと大好評でした。としこさん、ひとみさん、としみさん、恵美さん、ありがとうございました!!

## 上蔭（じょうぞく）のお手伝いに行きました。

筆甫の協力隊が養蚕業のお手伝いをしたい、ということで、谷津豊一郎さんのところにお邪魔しました。私は以前、別の養蚕農家さんの手伝いを経験したことがあり、今回お手伝いして農家さんによってそれぞれやり方が違うことを知りました。

上蔭（じょうぞく）とは、今まで桑の葉をひたすら食べていた蚕たちを蔭（まぶし）に引っ越しさせることを言います。上蔭のタイミングは早過ぎても遅過ぎても繭の質に関わってくるので、日程は天気や湿度を見計らいながら直前までわからないとのこと。長年の経験と勘が問われます。

この素晴らしい文化の担い手がだんだん減少している中、継続しておられる養蚕農家さんには本当に頭が下がります。もっと高く売れる仕組みがあればこの産業も生き残れるのではないかとぼんやり思っている今日このごろです。



## 大張の花火。

裏です。



外からパンパン聞こえたので何事かと思い、検索したら大張で復興花火が上がっている情報が！！見たい！！夏女は急遽思い立ち、安全運転で猛スピードで大張地区に向かいました。小雨が降っていましたが、シャワーミストに浮かぶ花火はとても幻想的でした。すべり込みで夏らしいことができ、苦手な冬を迎える準備が出来たような気がします。

## 新しい仲間（人間じゃない方）。

耕野まちセンに仲間が増えました。  
よろしくお願ひします。会いに来てね～



余談ですが

耕野に来る前はすぐ泳げる海がそばにあった環境で暮らして来た私。もうとにかく泳ぎた過ぎて体がうずうずして、耕野小のプールで泳ぐわけにもいかんし、あぶくま川で泳いだらただのクレイジーな人やし、もう限界ってとこで友達親子を誘ってプールに。やっぱ水中は癒されるう～♪